

さて、Twitter を使っていると、いろいろな制約にでくわします。今日はそのなかでも特によく出くわす制約 = システム的な「困った」についてどのように対処すべきかをご紹介します。みようとしたいと思います。

けんかしちゃった、とか、フォロアーが増えない、といったものについては、また別の機会にでも。

- ①オーバーキャパシティ(くじら)
- ②フォロアー数は 2001 まで
- ③フォロアー数はフォロアー数 × 1.1 倍まで
- ④フォロアー追加は 1 日 1000 まで
- ⑤ツールは 1 時間 150 リクエストまで
- ⑥ダイレクトメッセージは 1 日 250 通まで
- ⑦セキュリティ制限には https が効くかも？

①オーバーキャパシティ(くじら)

一番よく見る「困った」です。Twitter のシステムサービスそのものが使えなくなってしまったときにおきます。世界中のたくさんのユーザーが一度にアクセスした場合に Twitter のシステムを提供しているサーバー(コンピューター)が処理しきれなくなると起きます。段階的には、最初に TweetDeck のようなツールから Twitter に投稿できなくなりそして Twitter の HP 自体でも「タイムラインが更新されない」「ツイートできない」ということがおきます。そして最後に「くじら」の絵が表示されます。この「くじら」が表示されたら、オーバーキャパシティになった、ということです。

《解決策》

個人レベルではどうしようもありません。あきらめて、しばらく待ちましょう。そのうちつながります(笑サーバー増強の話もあるので、いずれはおきなくなるかもしれません)

ね。

②フォロー数は 2001 まで

原則、ユーザーがフォローできるのは 2001 名までです。理由は「2000 人ものツイートは実質的に見れない」「効率よくサーバーを使うため」などいろいろ言われています。このため、フォロー数が 2001 に達すると警告メッセージが表示されて新たに誰かをフォローすることはできません。

《解決策》

解決策にはいくつかあります。

1. フォロー対象を整理する自分がツイートを確認しなくてもよいユーザーについてフォローを解除します。bot 系や有名人系のユーザーをフォローからはずすことが多いようです。これによって、フォローを解除した分だけ新たにフォローはできるようになります。
2. リストでフォローするリストを使えば、フォロー数とは関係なく新たなユーザーをフォローすることができます。ただし、通常のタイムラインにはそのユーザーのツイートは表示されません。リスト上のみで表示されます。
3. フォロアーを増やすフォロアーを増やしていけば新たにフォローすることができます。実はもうひとつのフォロー数の制約で、「フォロアー数 × 1.1 倍」というものがあります。この「フォロアー数 × 1.1 倍」が 2001 を超えていけば、新たにユーザーをフォローしていくことができます。したがって、いろいろなユーザーをフォローしたければ、自分もフォローされなくてはいけない、ということになります。フォロワー数を増やすことが重要視される理由はこのあたりにもあつたりするわけですね。

③フォロー数はフォロアー数 × 1.1 倍まで

フォロー数が 2001 を超えることができても、その上限は、「フォロアー数 × 1.1 倍」までです。この上限値に達すれば、やはり、警告メッセージが表示されて新たに誰かをフォローすることはできません。

《解決策》

解決策は「②フォロー数は 2001 まで」と同様です。ただし、このぐらいまでになってくるとフォローの整理もなかなか大変です。ツールの活用なども考えていくとよいでしょう。案外、自分がほしいツールはすでに誰かが作っています。とりあえずは検索してみるとよいかもしれません。

④フォロー追加は1日1000まで

1日あたりにユーザーが一気にフォローできるのは1000までです。「直前24時間以内で、1000フォロー以内」となります。登録したばかりのときや、フォロワー数が増えたときなどに一気にフォローしていくと、たまに出くわします。この上限値に達すれば、やはり、警告メッセージが表示されて新たに誰かをフォローすることはできません。

《解決策》

基本的には待つしかありません。24時間たてばまたフォローできるので、翌日まで待ちましょう。

⑤ツールは1時間150リクエストまで

いろいろなツールが存在しますが、その使用にあたって制限があります。たいていのツールは、ツイッターに対して処理のリクエストを自動的に行っています。このリクエスト、というものは1時間で150回までしかできないのです。正確には、「直前1時間で150回まで」となります。細切れに処理のリクエストを出すツールなどでたまに見受けられます。「ぼちったー」というツールでもフォロワーが1万を越えたあたりでこの制限がでるようになりました。

《解決策》

ツール自体を修正しなければいけません。とはいえ、それができるのは開発者のみ。個人レベルでは他に同じ機能を持っていて使えるツールを探すしかありません。ちょっと面倒ですが、英語で探せば意外とあります。アメリカのほうがTwitter文化が進んでいますからね。

⑥ダイレクトメッセージは1日150通まで

ダイレクトメッセージ、これも1日250通までに制限されています。正確には、「直前24時間で250回まで」です。スパムメール対策のようですね。

《解決策》

おとなしく24時間たつのを待つしかありません。とはいえ、ふつうの使い方をしていればそうそう出くわすことのない制限でしょう。

⑦セキュリティ制限には https が効くかも？

会社などのネットワーク環境によっては「Twitter につながらない」なんていうこともしばしば。「企業としてマーケティング機会を失っている」「顧客との接点を自ら断っている」などの議論もありますが、それはひとまずおいておきます。しかし、裏技的に Twitter につなげることがあるのです。

《解決策》

実は Twitter には「http」始まりの <http://twitter.com/>と

「https」始まりの <https://twitter.com/>

の 2 つがあります。前者はふつうのアドレスなのですが、後者はセキュリティが強化された環境になります。

会社のネットワークセキュリティ設定によりませんが、「https」始まりの URL であれば、アクセスできることがあるのです。「アクセスはできるんだけど、ツイートはできない」なんていうケースについては実際に解決することができました。ただ、検証が十分にできているわけではないので、あくまでも可能性の範囲です。ちなみにネットワークセキュリティはおおむねセキュリティ会社が提供するパッケージソフトで設定されています。このセキュリティパッケージでドメイン指定、というやり方で Twitter が制限されてなければアクセスできることがあるようなのです。検証したわけではないので、まだ正確にはわかりませんが、余談ですが、ブロックするだけのセキュリティ設定には個人的には疑問を持っています。使えないようにするのではなく、正しい使い方ができるようにするというアクションのほうがずっと有効であり、必要なのではないかと。以上が、これまでの経験で得た Twitter の制約についての情報です。

次ぐらいからは Twitter の企業利用などを考察してみようかなあ、なんて思います。

- [Twitter No.5 広がりの変化](#) 03 月 30 日
- [Twitter No.4 フォローして頂...](#) 03 月 28 日
- [Twitter No.3 便利に使う](#) 03 月 26 日

[記事 URL](#) [コメント](#) [ペタ](#)

2010-03-30 13:30:35

Twitter No.5 広がりの変化

今回は Twitter をはじめてから、フォロワー数 1 万を超えるまでどんな変化があったかを、Twitter の位置づけ・ツイート内容・得られる情報(タイムライン)の 3 点を中心にまとめてみたいと思います。

Twitter を楽しんでいく上で、「どのあたりまでのネットワークを作るか」を考えている方の参考になれば、と思います。

- ①始めたころ - 友達ネットワーク(フォロアー 十数名まで)
- ②慣れてきたころ - 友達 + α ネットワーク(フォロアー 数十名まで)
- ③広がってきたころ - Twitter ネットワーク(フォロアー 数百名まで)
- ④さらに広がっていったころ - ソーシャルメディア(フォロアー 千名以上)

①始めたころ - 友達ネットワーク(フォロアー 十数名まで)

いわゆる Twitter 初心者のころにあたります。フォローもフォロアーも自分が直接知っている友達が中心。(それか bot か有名人のアカウントをフォローしていました。)
「Twitter って何だろう」ということを手探りで確かめているような時期でもありました。誰しもが一番最初に通る段階ですね。「まずは Twitter に慣れる」ということが第一の意識となる時期かもしれません。

《Twitter の位置づけ》

この時期の Twitter は「普段の友人とのコミュニケーションツールのひとつ」として位置づけられます。メール感覚で利用できます。また、場合によってはメモのような感覚で使うこともできるでしょう。

《ツイート内容》

ツイート内容も主観的な気軽な日常の出来事をつぶやけば十分。知った相手なので言葉も選ぶ必要はありません。ただ、だれでも検索機能などでツイート内容を確認することができるので、一般常識レベルでのマナーは必要ですが。

《得られる情報(タイムライン)》

タイムラインは当然、友人からのツイートだけ。特に整理もいりませんので本当に気軽に使えます。しかし、得られる情報は仲間内での情報だけになりがちです。Twitter の面白さ、という観点からかんがえると、ちょっともったいないですね。

②慣れてきたころ - 友達 + α ネットワーク(フォロアー 数十名まで)

「Twitter をもっと楽しみたいなあ」「フォローとか、フォロアーを増やしたいなあ」というように感じ始めることです。興味のある見知らぬ方をフォローしたり、逆に知らない方にフォローしてもらったり、ということが見られ始めるます。その結果、様々な観点での情報に触れる機会も自然と増え、「Twitter の面白さ」というものをだんだん実感する期で

もあります。「もっとフォロー・フォロアーを増やしたい」という気持ちになるのもこの時期でしょうか。

《Twitter の位置づけ》

「普段の友人とのコミュニケーションツールのひとつ」から「インターネットでのコミュニケーション創造ツール」に変わってきます。単に友人とコミュニケーションするだけでなく、新たなネットワークを作り、コミュニケーションを生み出すツールに変わってきます。

《ツイート内容》

まだまだツイート内容は、主観的に気軽な日常の出来事をつぶやけば十分。ただし、会ったことがない人がフォロアーに加わっているので、使う言葉にはちょっと気を使う必要がでてきます。自分の人となりを知らない方が読んでも不快にならない、理解できる、そんなツイートをちょっと意識する必要がでてきます。とはいえ、常識的な内容・言葉遣いであればとくに問題にはならないでしょう。

《得られる情報(タイムライン)》

タイムラインには「普段の友達からの情報」「Twitter ではじめて知った人からの情報」の2種類が流れてきます。量にもよりますが、「ちょっとタイムラインが混雑してるなあ」「友達のツイート見逃しちゃいそうだなあ」といったことを感じるようになります。その代わりに、仲間内からだけでは得られない情報もタイムラインに表示されるようになってきます。このころに「リスト」機能を使い始めるのでしょうか。友達用のリストなど、カテゴリ別のリストを作成して、Twitter 上の情報が整理されていきます。すると友達からの情報だけでなく、+α の情報もたくさん得られ始め「Twitter の面白さ」がぼんやりとわかり「フォロー・フォロアーを広げたい」という思いにつながってきます。

③広がってきたころ - Twitter ネットワーク(フォロアー 数百名まで)

Twitter に慣れ、フォローもフォロアーも充実し、得られる情報も増え、自分自身の見識も広がり始め、その機能を楽しんでいるころにあたります。おそらく、Twitter のユーザーを統計するとフォロアーが数百名以下、という方がもっとも多いのではないのでしょうか。「Twitter 中毒」とまではいかないものの、いわゆる「ハマっている」という方もこの段階に多いように思います。また、「仕事に応用できないかなあ」といったことを考え出す時期でもあります。Twitter の利用目的が明確になる時期かもしれません。単なる遊びから、仕事への過渡期、と位置づけてもよいでしょう。

《Twitter の位置づけ》

「インターネットメディア & コミュニケーションツール」という位置づけになってきます。まだ、自分から情報発信できる範囲は限定的なので双方向メディア、というレベルには達しません。

しかし、メディアとしての側面とコミュニケーションツールとしての側面この2つをもつツ

ールとなってきます。返信をもらえる量も格段に増えますので、Twitter 上での議論・意見交換もより多く楽しめるようになります。また、ビジネス的な観点からは業務への応用価値を考えるようになりますので、「実験的な業務ツール」にもなってきます。

《ツイート内容》

フォロワー数も数百まで増えてくると主観的に気軽な日常をつぶやくだけでなく、「フォロワーが読みたい内容」と気にかけてツイートも増えてきます。おそらく、フォロワーの大半はあったことのない方となっていることを考えるためです。仲間内だけしかわからない内容では他のフォロワーさんにとっては退屈な内容ですからね。

自然とニュースなどの話題に触れる機会も増えていきます。副次的な効果ですが、物事を見る目も広がっていくように思います。

《得られる情報(タイムライン)》

タイムラインはかなりの情報であふれてきます。リストを使うのはもちろんですが、TeetDeck のような Twitter 用のツールも活用し始めます。なぜなら、「ツールでも使わなければ情報を追うことなどできない」というぐらいの量になってくるのです。とはいえ、おそらくフォローは「自分の興味のある方が中心」であることが多いので、タイムラインを眺めているだけでもまだ十分かも知れません。また、情報に対して

- ・すばやく内容を把握する
- ・瞬間的に取捨選択する
- ・わからないことは割り切る

ということが求められてきます。情報リテラシーというものが必然的に鍛えられてしまうわけですね。ちょっぴり大変になりますが、その分、得られる情報もかなり広く、深くなります。テレビや新聞で報道されない情報、現場感のあるリアルタイムな情報、そういったものが当然のように増えます。結果として、自分自身の見識を大きく広がることになります。

新しいアイデアを生み出すきっかけ、そんなものもたくさん得られるようになってきます。ゆえにこの時期が、一番 Twitter が楽しい時期なのかもしれません。

④さらに広がっていったころ - ソーシャルメディア(フォロワー 千名以上)

Twitter の利用目的は明確であり、その機能を十分に活用し、フォロー・フォロワーも多くなり、自分のツイートが影響力を持つところまでです。有名人や企業の公式アカウントに匹敵するだけのフォロワーを持つわけですから。僕のフォロワーの方を集計した範囲では、フォロワー千名を超える方は 10%程度です。(ちなみに 1 万を超えるのは 1%程度です。)となると、もはや単なる遊び、とはいえなくなってきました。自分自身が情報の発信源として、大なり小なりの発言責任をもつことを意識しなければなりませんし、自然と意識してきます。

また、ビジネス的には実験から本番へ移っていく段階でしょう。(実験のつもりでやっても周囲がそれを許さなくなってくると思われます。)気軽に Twitter を楽しみたい、という方はここまで広げる必要性は必ずしもないかもしれませんね。明確な目的がないと Twitter で疲弊してしまうでしょうから。

《Twitter の位置づけ》

「双方向のソーシャルメディア」またはそれに順ずるもの、として位置づけられます。情報を得ると同時に、自分自身も多くの方への情報発信源となるのです。場合によっては地域のテレビ局やラジオ局よりも多くの方が自分のツイートに触れていることもありえるのです。実際、Twitter 上でテーマを投げかければ、かなり多くの方から返信がもらえ議論も活発に行うことができます。ビジネス的には「有力で低コスト名 PR ツール」という地位を確立してくる時期でもあるでしょう。どのようにビジネスに使うか、それを真剣に考え、実行することが求められてきます。

《ツイート内容》

ツイート内容には「情報の発信源としての責任」は少なからず求められます。デマ情報や不正情報を流せば、社会的な影響に及ぶかもしれないからです。2010年3月に原宿竹下通りで起きた大混乱などはその一例ととらえてもいいかもしれません。

(本当はちょっとちがうのですが、だいたい同じようなことが起こるリスクがあります。)

また、いわゆる「炎上」を呼び起こしてしまう可能性もあるからです。

礼儀やネチケットの遵守はもちろん、情報ソースの正確性、読み手(フォロアー)の期待・心象、といったことを考慮する必要があるわけです。常に自分のツイートには、何かしらのリスクが付きまとうようになるわけです。しかし、自由にいろいろな意見・情報をやり取りできる、という Twitter の魅力を損なっても意味はありません。「自由と責任」このバランスを意識してコントロールすることが求められてくるのかと思います。

《得られる情報(タイムライン)》

得られる情報の量は膨大です。タイムラインは数秒で当たりしツイートが100件、200件とたまっていってしまいます。リストやツールを使っても全部を読むことなどできません。「タイムラインは今表示されているものだけ」「確実に読みたい方のツイートはリストで」という割り切り・整理をより明確に行っていく必要があります。それを踏まえてうえで、このころになるとタイムラインの内容が非常に興味深くなります。

やり方しだいではありますが。普段は触れることのない方々、自分の興味の外側に今までいた方々、そういった方々のツイートを目にする機会が増えるからです。そして、まったく異なった観点からの情報を与えてくれることが多くなるのです。いわゆる「ノン・カスタマー層の情報」というものが大量に手に入ります。新しいアイデアを探しているときなどはこれほど有効な情報はないでしょう。ビジネスで利用するに当たってはとて大きな価値をもつものであり、場合によっては大金をはたいて得る情報です。

それがタイムラインから得られるようになるわけです。もはや、単なる Twitter のアカウントが、情報資産としての価値をもつようになっていて、といっても過言ではありません。もちろん、これを活用するためには、かなり高い情報リテラシーが求められます。しかし、この情報リテラシーの壁さえ越えれば、強力なマーケティングツールとして、ソーシャルメディアとして、新しい可能性をどんどん広げていけるはずです。おそらく、この時期が新しいビジネスプラン・アイデアがより多く見えてくる時期となるでしょう。

以上が、Twitter をはじめてからの変遷です。

何回かにわければよかったかな、というくらい長くなってしまいました。個人で楽しむのであれば、「れてきたころ - 友達 + α ネットワーク(フォロアー 数十名まで)」か「③広がってきたころ - Twitter ネットワーク(フォロアー 数百名まで)」ぐらいが適正なのかなあ、と思います。ですが、ビジネスを考えるのであれば、多少なりとも責任が求められてきますが、影響力と情報力をもてる「④さらに広がっていったころ - ソーシャルメディア(フォロアー 千名以上)」までは必要になるのではないのでしょうか。

どのあたりまで Twitter を使うか、それを考えるときの参考になればと思います。

①目的は明確に (フォロアーを増やす事が全てではない)

②マナーは守って礼儀正しく

③まずは自分がフォローする

④自分が楽しく、相手は嬉しく

⑤タグやイベントを利用する

①目的は明確に (フォロアーを増やす事が全てではない)

Twitter をやっていくと「フォロアーを増やしたいなあ」とは誰もが思うことです。人は誰しもが「認められたい」という欲求を持っているもの。Twitter の世界では、「フォロアー = 自分の存在を認められている証」と解釈されるのかもしれない。これ自体はごく自然なことなのですが、「フォロアーを増やす」ことだけを目的にすると、せっかく Twitter でつながった皆さんとのコミュニケー

ションや本来 Twitter を使ってやりたかったことを忘れてしまいがち。さらにこれが行き過ぎれば、フォロワー数 = ゲームの点数、といった感覚になるかもしれません。あくまでもフォロワーは、「自分のツイートを見てくれている方」であり、Twitter はその方とのコミュニケーション手段であることを決して忘れてはいけません。それにフォロワー数だけを見ていると、目標にしていた数が達成されれば、すぐに Twitter に飽きてしまうかもしれません。それではちょっともったいないですからね。「Twitter を利用する目的」を忘れないようにいつも注意する必要があるわけです。では、次のセクションからフォローをして頂くための方法、ご紹介していきたいと思います。

※Twitter 上の制約から、

ちなみに大量にフォローを増やすには大量のフォロワー数も必要になる場合があります。制約に関しては、別に機会にまとめます。

②マナーは守って礼儀正しく

さて、Twitter はつまるところ人と人とのコミュニケーション方法のひとつです。なので何よりもマナーが大切。Web 上でのエチケット= ネチケツトは最低限守らなくてははいけませんし、当然常識的なマナーも守ることが大事です。例えばこんなところですよ。

- ・プライバシーを侵害しない
- ・誹謗中傷をしない（攻撃しない）
- ・個人情報を載せない
- ・一度に大量投稿をしない
- ・機種依存文字は使わない
- ・他のユーザーが不快に思う表現は使わない
- ・なるだけ誰が読んでもわかる表現を使う
- ・引用するときは「RT/QT」などで明示する

また、礼儀も大事です。ネットの世界とはいえ、相手が誰であれ、敬意を忘れてはいけません。年齢や立場も関係ありません。特に直接あったことない方とのやり取りは、

- ・丁寧な言葉遣い
- ・相手への敬意・思いやり

これを忘れてはいけません。また、まれにマナーを破ったり、礼節を欠くようなことに出会うかもしれませんが、ムキになって相手をして何もしません。

- ・程よくあしらったり、無視する
- ・そのユーザーをブロックする

など、大人の対応を心がけることが必要と考えています。一人ひとりが少しずつ相手を思いやればもっと Twitter を楽しむことができますから。

③まずは自分がフォローする

フォローを増やすために「フォローしてください」といくらツイートしても、あまり効果はありません。結局のところ、どんなユーザーでも自分が何かしらの興味がなければ誰かをフォローすることはないのです。ただ「フォローしてください」といっているだけでは、相手の興味を引き出すことは難しいのではないのでしょうか。では、どのようにするか。相手の興味を引き出す方法として、「自分が相手に興味を持つこと」がとても有効な方法です。これは現実のコミュニケーションと同じですね。なので、まずは自分から気になる方をどんどんフォローしていきました。そうすればフォローした相手がいつの間にか自分のフォロアーになっている、つまり相互フォローの関係になっていることがとても多いのです。僕がやってきた範囲では、フォローしたうちの約8割が僕のフォロアーになって下さいました。なので、1000名にフォローしてもらいたければ、1250名ぐらい自分でフォローすればよい、という計算になります。まずは自分がいろんな方をフォローする、それが多くの方にフォローしてもらうための第一歩なのです。

④自分が楽しく、相手は嬉しく

さて、どんどんフォローしていきながら、同時にやらなくてはいけないことがあります。それはツイートをしていくこと。ツイートをしていないユーザーはフォローしても面白くない、と思われてしまう可能性が高いのです。なのでツイートをしていくことはとても大事。このときに自分が楽しく、そして相手（フォロアー）が嬉しい情報をツイートしていくことが理想的です。なぜなら、まず楽しくなければ、自分自身がツイートをする気になれません。そして相手にとって嬉しい、つまり相手にとって興味のあることにしなければ、「フォローしたい相手」と思ってもらうことはとても難しいからです。僕の場合で言えば、

経営コンサルタントをやっているので、政治・経済・経営に関するニュースに自分なりの解釈・見解を加えてツイートすることにしています。僕自身は仕事上の興味の延長ですし、こういうのを書くのは楽しい。読んでくれている方には話のネタとしても使ってもらえるし、もしかしたら仕事にも使ってもらえるかもしれない、役立ちそうな情報（うれしい情報）になるかなと。また、質問を受ければ必ず答えるようにしています。そういうやり取り自体がやはり楽しいですし、先方も回答を得られれば嬉しいはず。（ご挨拶についても一つ一つ返信したいのですが、タイムラインが挨拶だらけになってしまうことと、何より量的に返信しきれないため、僕の場合はある程度まとめて返信させていただいてました。）逆に相手のツイートに対しても興味がある内容に対しては質問したり、コメントをつけたり。自分の知見が増やせて楽しく、相手もレスポンスがあれば嬉しい。こういった、自分が楽しく相手にとって嬉しいツイートをまめに投稿して行くことが、より多くの方にフォローしていただくための大きなポイントになってきます。

⑤タグとイベントを利用する

最後により効率よくフォローしていただくための方法をご紹介します。それは、タグ と イベント です。まずタグについてです。以前もご紹介しましたが、「フォロワーを増やしたい」という意思表示である以下のタグを使っています。

「#followmeJP」

「#sougofollow」

このタグを自分発信のオリジナルツイートのはきは（返信ではなく、自分発信のごくふつうのツイート）必ずつけるようにしています。こうするうことで、何気ないツイートも、フォローしていただくためツイートに変わっていくわけです。だいたい1ツイートあたり1フォロワーぐらいの割合で新たにフォローいただいております。

※返信の場合にはつけていません。

返信時は返信先ユーザーの名前も表示されます。このとき、返信先ユーザーが必ずしもタグ利用を望んでいるとは限らないためです。ちなみに「フォローしてください」といった旨のツイートは一度も行ったことはありません。上記のタグをつける、ということがすでに「フォローしてほしい」という意図をあらわしているためですし、「フォローしてください」というツイートではいろんな方に興味を持っていただくことは難しいので。

次にイベントです。一番有効なイベントは、月に一度の「フォロミー祭り」です。前回もご紹介しましたが、フォロー・フォロワーを広げることを目的にしたイベントです。これに乗かってしまうのがひとつ有効な手段ではないでしょうか詳細はこちらです。

<http://blog.livedoor.jp/followmejp/>

1回のイベントで数百フォロワー増える場合もあります。そういう目的のイベントですからね。他にも **Twitter** 上でのイベントはありますので探して参加してみてください。

またサッカー日本代表の試合などの現実世界でのイベントもひとつのチャンスです。多くの人々が同じ話題をツイートしており、場合によっては共通のタグ (#daihyo など) を使用しています。自分自身もその話題でタグを使い、ツイートを流していけば十分に新たにフォローしていただける機会は広がっていくはずです。

これ以外にもコフォロワーを募集するための専用サイトのようなものもあるので活用してみるのも一つの手かもしれません。ちなみに僕は使ってないので内容はご紹介できませんが。。。

以上が、**Twitter** で僕が実践している内容です。結局のところ、「よろ多くの方にフォローしていただく」という目的に直結するのは最後の「⑤タグやイベントを利用する」、という点だけになります。しかし、①～④を踏まえているからこそ、これほどまで多くの皆さんにフォローいただけたのだと思います。

Twitter はフォロー数、フォロワー数が増えていけばもっともっと楽しくなっていきます。今回の内容、だいぶ長くなってしまいましたが、参考になればと思います。